



かながわ

議会だより

鎌倉市議会

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

電話：0467(23)3000 内線 2448 FAX：0467(23)5825

鎌倉市議会ホームページ…………… [鎌倉市議会](#) 🔍検索

メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

編集発行：鎌倉市議会広報委員会

平成29年9月定例会（9月6日～9月29日）

平成28年度一般会計および6特別会計決算を認定

●定例会の概要

- 9月定例会では15名の議員が一般質問を行いました。
- 市長提出議案として、条例関係議案6件、補正予算議案3件、その他議案3件を可決、議案第55号「私たちのまち鎌倉のことに関心を持ち、自分たちでより良くしていこうという思いを共有して行動するための条例の制定について」を否決、平成28年度一般会計ほか6特別会計決算を認定したほか、諮問1件に答申しました。
- 議員提出議案として、「ユダヤ難民に対する人道的行為を行った小辻節三博士を顕彰する決議について」ほか2件を可決しました。
- 陳情1件を採択、1件を不採択としました。

●定例会の主な動き

本会議（9/6～11）	……………	一般質問、議案上程、採決	（2面）
各常任委員会（9/12～15・29）	……………	議案・陳情審査等	（3面）
決算特別委員会（9/20～26）	……………	決算認定議案審査	（3面）
本会議（9/29）	……………	委員長報告、議案上程、採決	（4面）

開かれた

議会を

目指して

議会中継がスマホ、タブレット端末から視聴可能に

9月1日から、インターネット議会中継をスマートフォンやタブレット端末からも視聴できるようになりました。これからは時間や場所を選ぶことなく、いつでもどこでもご覧いただくことができます。

また、今回10年ぶりに中継システムを入れ替えたことにより、映像がより鮮明に、音声クリアになりました。インターネット議会中継では、リアルタイムで議会がご覧いただける「生中継」のほか、過去の会議の「録画映像」もご覧いただけます。会議名や議員名で、ご覧になりたい映像を検索することができます。



鮮明になった中継システムの映像

スマホ、タブレット端末から中継を視聴する（鎌倉市議会のスマートフォンのページ）



④好きなメニューを選択

メニュー	
会議の予定	議会中継
本会議録画配信	委員会録画配信
一般質問	会議録検索
スマホ版トップ	PC版トップ
鎌倉市議会	鎌倉市役所

Copyright(c) 2003- 鎌倉市議会

市議会ホームページからインターネットでの中継および録画映像を配信しているほか、市役所本庁舎1階ロビー、2階議会ロビー、各行政センター、生涯学習センターのテレビでも議会の生中継を行っています。

議会報告会・意見聴取会を開催しました！



大船会場の様子



鎌倉会場の様子

平成29年7月29日（土）・30日（日）に、議会報告会・意見聴取会を大船行政センター第1集会室、市役所議会全員協議会室で開催しました。議会報告会では各常任委員会の正・副委員長から、5月臨時会、6月定例会での審査内容について、報告がありました。

その後、意見聴取会では今回初めてテーマを設け、「観光」について、市民の方と議員とで意見聴取会を行いました。今年度はテーマを設けたこともあってか、大船会場26名、鎌倉会場24名と、いずれの会場も多くの方にいらしていただきました。また、小さいお子様を連れてご夫婦や、小学生にもお越しいただくなど、和やかな雰囲気で開催することができました。なお、いただいた意見については報告書にまとめ、市長宛てに参考送付しました。



委員長報告の様子

一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるもので、9月定例会では15名の議員が一般質問を行いました。
 ここでは、議会広報委員会が事項別に整理した内容の一部を掲載しています。
 一般質問の全文は、11月下旬作成予定の本会議録を図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

子どもたちの学びの環境について

子どもたちの学びの環境について、次の視点から質問が行われました。

【学校のトイレについて】

質問：平成28年8月、文部科学省は公立の義務教育学校の施設整備についての基本計画を改定し、長寿命化改修事業とともに、トイレの環境改善が明記されたが、鎌倉市立小・中学校のトイレの洋式化率について聞きたい。
 教育部長：平成28年度末の洋式化率は全校平均で38%である。



改修後のトイレ

【学校の教材・教員について】

質問：今後の小・中学校のトイレの改修計画について聞きたい。
 同部長：原則的に学校の建築年の古い順にトイレの改修工事を行っており、平成29年度は、富士塚小学校、小坂小学校の改修工事を実施し、平成30年度以降は、植木小学校、関谷小学校、腰越中学校、深沢中学校の4校の改修工事を予定している。便器の洋式化や臭気対策を行うことで、児童・生徒が快適にトイレを利用できるように改善していく。

質問：トイレを洋式化する際の課題について聞きたい。
 同部長：学校のトイレのドアは、家庭用トイレと異なり内開きのため、便器にドアがぶつかってしまうことから、限られた面積の中で改修を行わなければならないことが課題である。

また、各学校においては、備品修繕に係る予算の執行計画を検討し、教育委員会と調整した上で、突発的な修繕も含め、対応しているところである。

質問：子どもたちがどのような備品を使っているのかなど、学校現場の状況把握をしてもいいか。
 同部長：現場主義というのは大事だと思っており、ハード・ソフトの両面の支援を考えた上で、予算編成時期のみならず、学校行事の折に各学校を訪問することで、状況の把握に努めていきたい。

質問：夏休みにおける子どもの居場所の確保という観点から、行政センターに食事ができるスペースを設けるようお願ひしていたが、現在の状況を聞きたい。
 市民活動部長：腰越、深沢の両行政センターではテーブルと椅子の配置を変更し、食事スペースとして利用できるようにしている。

質問：青少年の居場所の確保という観点から、生涯学習センターに自習スペースを設けてほしいと思うがいかがか。
 こどもみらい部長：生涯学習センターでは、8月15日から9月14日の1カ月間、青少年の居場所の一つとして、試行的に自習スペースを開設した。



開設した自習スペース

る課題等を整理し、常設化に向けて検討していきたい。
 質問：老若男女問わず居場所づくりを進めていかなければならないと考えているが、市長の考えを聞きたい。
 市長：子どもたちから青少年、高齢者に至るまで、それぞれの世代に応じた居場所の提供は重要であると考えている。また、それぞれの世代が同じ場所に集うという重要なことになってくると思いますが、行政だけの取り組みでは、一定の限界があるため、そのような居場所を提供する団体等に支援をするなど、今後、積極的に検討していきたい。

【プログラミング教育について】

質問：平成32年から小学校で必修化となるプログラミング教育をどのようにつけていくか。
 教育部長：子どもたちがプログラミングの思考を身に付けて情報機器を活用し、知識や技術、情報モラルを確実に身に付けることがねらいである。プログラミング教育は必要と認識しており、平成32年度からの実施に向けた準備を進めている。

質問：プログラミング的思考とはどういうもので、どうやって子どもに身に付けさせるのか。
 教育部長：プログラミング的思考とは、学習や活動のゴールに向けて論理的に考えていく力と考えている。例えば理科において電気製品に活用されているプログラムが条件に応じて動作することに気付く学習や、音楽においてソフトウェアを活用して音の長さや高さ

を組み合わせて音楽を作る学習などを考えている。
 質問：グラフィカルな操作によるプログラミングの体験よりも、日常的な出来事を論理的に見ることのできる力を育てることこそがプログラミング教育にとって肝要であるとの声があるが、こつした声についてこれまでに議論をしているか。
 同部長：議論がさまざまあることは認識しているが、情報機器を上手に活用し、論理的に物事を考えるプログラミング的思考や、情報モラルを身に付けるプログラミング教育は、子どもたちにとって大変大切なことだと認識している。こうした内容を十分捉まえながら、教育に対する取り組みを進めていくことが重要であると考えている。

を組み合わせる音楽を作る学習などを考えている。
 同部長：外部専門機関と連携した研修に教員を派遣するなど人材育成に努めるほか、平成30年度からは小・中教員合同の調査研究会を立ち上げ、外国語教育における指導内容や指導方法の研究を行っている。
 質問：英語教育が本格実施される平成32年には、鎌倉市に100万人から110万人の外国人の方が訪れると推計されている。こつした中、英語教育が中途半端にならないよう、予算措置を適切にすべきではないか。
 市長：小学校における英語科の導入に当たり、教科指導の充実を図ることは大切であると考える。今後も教育委員会と調整を図ってまいりたい。

請願・陳情の議決結果

今定例会では1件の請願、26件の陳情が提出されました。そのうち、陳情14件を全議員に配付し、請願1件、陳情12件を各常任委員会に付託し審査を行いました。その結果、陳情1件を採択したほか、陳情1件を不採択、請願1件および陳情7件を継続審査とし、陳情3件を議決不要としました。結論が出た陳情は次のとおりです。

【採択した陳情】
 ◇医療費助成制度継続についての陳情
 陳情の要旨および審議結果
 平成30年度の予算策定に際し、重度障害者医療費助成制度について、障害児・者が負担なく医療を受けられるよう求めるものです。委員会、本会議共に総員の賛成により採択しました。

【不採択とした陳情】
 ◇NECとの包括連携協定締結についての陳情

- 1 国民健康保険事業について
- 2 介護保険事業について
- 3 健康づくりについて
- 12 竹田 ゆかり (無所属)
 - 1 教科用図書採択について
 - 2 小学校「英語科」の実施にあたって
 - 3 学校教育における人的配置について
 - 4 学校教育における豊かな学習環境について
 - 5 高齢者の運転免許証自主返納について
- 13 飯野 眞毅 (無所属)
 - 1 成年後見制度について
 - 2 非正規職員の処遇について
 - 3 大船駅の再開発について
 - 4 居場所づくりについて
- 14 千 やまゆり園の事件から 7月26日
- 15 西岡 幸子 (公明党)
 - 1 江ノ電踏切・通路問題と行政のあり方について
 - 2 鎌倉市の介護政策について
- 4 介護体制について
- 15 西岡 幸子 (公明党)
 - 1 江ノ電踏切・通路問題と行政のあり方について
 - 2 鎌倉市の介護政策について

一般質問項目一覧

- ① 武野 裕子 (日本共産党)
 - 1 北鎌倉隧道問題について
- ② 長嶋 竜弘 (無所属)
 - 1 モトリアム市長のフェイクを暴く
- ③ 高野 洋一 (日本共産党)
 - 1 今後の図書館運営のあり方について
 - 2 平和都市宣言を活かした市政運営について
 - 3 鎌倉駅へのホームドア設置など安全対策の取り組みについて
- ④ 前川 綾子 (鎌倉みらい)
 - 1 緑の管理について
 - 2 漁港(船揚げば)の整備について
 - 3 障害者の就労について
 - 4 子どもをめぐる環境について
- ⑤ くりはら えりこ (無所属)
 - 1 市民の安全性について
 - 2 市民相談窓口について「市民コンシェルジュ」
 - 3 公共施設の新規事業等について
 - 4 歴史的建造物の保存について
 - 5 人権について
- ⑥ 森 功一 (自民党鎌倉市議団)
 - 1 民泊新法(住宅宿泊事業法)の対応について
- ⑦ 保坂 令子 (神奈川ネット鎌倉)
 - 1 市長の政治姿勢について
- ⑧ 納所 輝次 (公明党)

- 1 鎌倉市の防災行動計画について
- 2 学校トイレの洋式化および体育館への多目的トイレの設置について
- ⑨ 大石 和久 (公明党)
 - 1 2期8年の松尾市長の政治姿勢について
- ⑩ 河村 琢磨 (ヴィジョン)
 - 1 総合的人材マネジメントの考え方について
 - 2 プログラミング教育について
 - 3 森林公園から考える土地政策について
- ⑪ 吉岡 和江 (日本共産党)
 - 1 国民健康保険事業について
 - 2 介護保険事業について
 - 3 健康づくりについて
- ⑫ 竹田 ゆかり (無所属)
 - 1 教科用図書採択について
 - 2 小学校「英語科」の実施にあたって
 - 3 学校教育における人的配置について
 - 4 学校教育における豊かな学習環境について
 - 5 高齢者の運転免許証自主返納について
- ⑬ 飯野 眞毅 (無所属)
 - 1 成年後見制度について
 - 2 非正規職員の処遇について
 - 3 大船駅の再開発について
 - 4 居場所づくりについて
- ⑭ 千 やまゆり園の事件から 7月26日

平成28年度決算を審査

一般会計および6特別会計決算を認定

今定例会では、市長から平成28年度の一般会計および6特別会計決算の認定議案が提出されました。

決算特別委員会の設置

議会は、9月11日の本会議において、各会派から選出された委員10名(委員名簿参照)からなる平成28年度鎌倉市一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会(以下「決算特別委員会」という)を設置し、これらの審査を付託しました。

決算特別委員会での審査
決算特別委員会では、9月20日、21日、22日、25日、26日の5日間にわたり、予算審査における議会の指摘事項の反映状況や、3年目となる第3期基本計画前期実施計画の諸施策の進捗状況などを中心に、予算の適正な執行と、その行政効果について、担当部署への質疑を行いました。

さらに、包括予算制度におけるインセンティブ獲得に対する取り組み、ごみ処理行政

深沢地域整備事業については、重要課題として市長に出席を求め、その見解をたずねました。

審査後、採決を行い、一般会計決算および国民健康保険事業特別会計決算は多数の賛成により認定。下水道事業特別会計、大船駅東口市街地再開発事業特別会計、公共用地先行取得事業特別会計、介護保険事業特別会計および後期高齢者医療事業特別会計決算は総員の賛成により認定しました。

本会議における委員長からの審査結果報告、討論・採決
9月29日の本会議において、委員長から審査経過および結果が報告され、一般会計決算議案に対しては、次の四つの意見が付されました。

○障害児・者の支援体制の充実について
障害のある方が必要なサービスを受けながら自立した生活を送り、住み慣れた地域で暮らせるよう、基幹相談支援センターを中核とする相談支援体制について、同センターが支援のネットワーク強化の推進役として、その機能を十分に果たせるように働きかけること。また、障害のある方やその家族への切れ目のない支援の仕組みとして、障害児・者向けのネウボラ導入を検討することを要望する。

○子育て支援施設等整備事業について
岡本二丁目マンション計画跡地については、土地所有者からの寄付を受け、用地活用基本計画が策定されたものの、隣地との境界が未確定な部分があることが判明し、平成28年度予算に計上された施設設計業務委託料が執行されなかったものであるが、同計画において、子ども・子育て支援が導入機能の一つとして位置づけられていることから、問題点を解決した上で、早期に事業が進められるよう要望する。

○市民の健康づくりについて
市民の健康づくりについては、健診制度の充実のほか、鎌倉市健康づくり計画におけるウォーキングの推進等を行っており、こうした取り組みは、医療費の削減や介護予防につながると考えられることから、今後さらなる展開を図るため、健康づくりを全ての施策の中心に据えて、全庁的な取り組みを進めるよう要望する。

○学校施設整備事業について
学校施設におけるトイレについては、老朽化しているにもかかわらず、現在の計画によれば、改修に10年近くかかるってしまうことから、柔軟な予算配分を行うことによ

決算特別委員会委員名簿	
委員長	中村 聡一郎 (鎌倉のヴィジョンを考える会)
副委員長	大石 和久 (公明党鎌倉市議会議員団)
委員	志田 一宏 (自由民主党鎌倉市議会議員団)
	西岡 幸子 (公明党鎌倉市議会議員団)
	河村 琢磨 (鎌倉のヴィジョンを考える会)
	池田 実 (鎌倉みらい)
	森 功一 (自由民主党鎌倉市議会議員団)
	高橋 浩司 (鎌倉プロジェクトの会)
	保坂 令子 (神奈川ネットワーク運動・鎌倉)
	吉岡 和江 (日本共産党鎌倉市議会議員団)

り、子どもたちが快適に過ごせる環境を早期に実現するよう要望する。

その後、6会派から討論として決算議案に対する賛否の意見が表明され、引き続き採決を行った結果、一般会計決算および国民健康保険事業特別会計、公共用地先行取得事業特別会計決算を多数の賛成により認定、下水道事業特別会計、大船駅東口市街地再開発事業特別会計、介護保険事業特別会計および後期高齢者医療事業特別会計決算を総員の賛成により認定しました。



決算特別委員会委員

り、子どもたちが快適に過ごせる環境を早期に実現するよう要望する。



9月13日開催
審査した内容(議案3件、陳情7件、報告事項8件)

議案第55号 私たちのまち鎌倉のことに関心をもち、自分たちでより良くしていこうという思いを共有して行動するための条例の制定

本条例は、市民や鎌倉のまちにかかわる人々等と市が協力し合い、多様化する地域課題を解決し、鎌倉のまちをさらに輝くまちにしていこうため、基本理念などの必要な事項を定めるものです。

委員会では、担当原局や市長に対して質疑を行う中で、一部の委員から、パブリックコメントの結果や条例の柱となる指針の提示が遅れたため、条例の中身を精査する時間がなく、判断することが難しいとの意見があり、条例の取り扱いを協議するため、条例の熟度についてという論点で委員間討議を行いました。その結果「条例の柱となる指針について広く市民意見を聴取すべきで、条例の内容を精査し熟度を高めていくべきであることから、採決を行わず継続して審査すべき」との意見、「市民等による検討会を重ねてきた結果、結実した条例であり、この条例を基礎として具体的な施策を市に求める仕組みをつくるものなので、採決すべき」との意見に分かれましたが、多数により採決を行うこととなり、採決の結果、少数の賛成により否決されました。

9月15日開催
審査した内容(議案4件、請願1件、陳情1件、報告事項8件)

報告事項 防災対策の取組状況について

防災対策における、これまでの主要な取り組みを振り返るとともに、今後の方針について次のとおり報告がありました。

災害時広報事業では、防災行政用無線デジタル化の推進や公衆無線LANの整備が行われます。

避難対策の推進では、避難行動要支援者対策の継続的な推進、津波避難のための各種誘導標識等の補修や誘導表示の増設、災害危険区域に立地する要配慮者施設の避難計画策定や訓練の実施要請などに取り組みます。また、自主防災組織とのさらなる連携により地域防災力の向上を図ります。

がけ地対策事業については、既成宅地防災工事資金助成制度の運用、急傾斜地崩壊危険区域の指定・対策工事の推進に加え、庁内の横断的組織による危険斜面・危険木の情報共有と対策に取り組んでいくとのこと。委員会では総員により了承されました。

観光厚生常任委員会 **常任委員会** **総務常任委員会**
建設常任委員会 **審査の一部を紹介します** **教育こどもみらい常任委員会**

9月14日開催
審査した内容(議案4件、陳情4件、報告事項8件)

報告事項 「観光交通インベーション地域」の選定について

国土交通省から、「観光先進国」の実現に向け魅力ある観光地を創造するため、ICT・AI等の革新的な技術を活用し、警察や観光部局とも連携しながら、エリアプライシングを含む交通需要制御などのエリア観光渋滞対策の実験・実装を図る「観光交通インベーション地域」の公募があり、本市が、交通渋滞の解消に向け、交通需要を管理する施策としてロードプライシングの検討に取り組んでいることから、これに応募したところ、平成29年9月7日に、鎌倉市が京都市とともに選定されたとのこと。

今後は、国土交通省を中心とした実験協議会が主体となり、交通流入台数、通過交通量や映像による混雑状況の把握、ETC装着車両の比率の確認などの実証実験の運営・評価等が行われ、本市は、実証実験の場所の提供・管理、実験に係る関係者との調整、実験結果の評価のための既往調査の提供等を行っていくとのこと。

委員会では総員により了承されました。

9月12・29日開催
審査した内容(諮問1件、報告事項10件)

報告事項 中学校給食事業の推進状況について

鎌倉市立中学校における最初の完全給食実施日が、平成29年11月7日(火)となり、市内全9校にて給食がスタートになります。

給食実施に先立ち、中学校の教職員を対象とした説明会を6月26日(月)から7月20日(木)に順次開催し、教職員向け試食会を7月20日(木)に、保護者を対象とする説明会・試食会を、8月18日(金)から31日(木)にかけて、全9校で1回ずつ実施されました。また、市長、副市長、教育長および教育委員向け試食会を、8月28日(月)に実施しました。試食会において、直接いただいたご意見や、実施したアンケートの集計結果等からは、概ね良好な評価をいただいたとのこと。また、アンケートの自由記入欄には、給食の量や給食時間に関する意見が多く見受けられたとのこと。これら意見等を11月からの給食提供の参考とし、生徒と保護者の期待に応えられる給食事業の推進を図っていくとのこと。

委員会ではごはんの量についてなどの質疑がありましたが、総員により了承されました。

議決された主な議案等

※9月定例会では市長提出議案21件（決算認定議案7件、諮問1件含む）、議員提出議案3件の採決を行いました。下記以外の議案等への賛否については、議会事務局へお問い合わせください。

○：賛成 ー：反対 退：退席

会派名		議案名	議決結果	公明党	市民連合	自由民主党	維新の会	鎌倉市議会	無所属																				
※会派は、政策を中心とした同一の理念を共有する2人以上の議員で構成されます。本市議会では、会派に属する議員は代表質問を行ったり、議会運営委員会の委員となり、議会運営に関する協議を行うことができます。		※○は会派の代表者 ※山田直人議員は議長のため、採決には参加していません。		大石和久	西岡幸子	納所輝次	吉岡和江	武野裕子	高野洋一	前川綾子	山田直人	池田実	伊藤倫邦	志田一宏	森功一	中村聡一郎	河村琢磨	久坂くにえ	高橋浩司	日向慎吾	永田磨梨奈	保坂令子	安立奈穂	千一	くりはらえりこ	竹田ゆかり	長嶋竜弘	飯野眞毅	松中健治
決算	第47号	平成28年度鎌倉市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第50号	平成28年度鎌倉市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	第55号	私たちのまち鎌倉のことに関心をもち、自分たちでより良くしていこうという思いを共有して行動するための条例の制定について	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第60号	鎌倉市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	第61号	平成29年度鎌倉市一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第63号	平成29年度鎌倉市一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案	第4号	ユダヤ難民に対する人道的行為を行った小辻節三博士を顕彰する決議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第5号	核兵器禁止条約に日本政府が積極的な役割を果たすことを求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第6号	北朝鮮の6度目の核実験とたび重なるミサイル発射に対して強く抗議するとともに、北朝鮮に対する断固たる対応の早急な実施を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	第12号	医療費助成制度継続についての陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

今定例会では、議員から3件の議案が、市長から21件の議案が提出されました。主な議案の内容および議会における議決結果は次のとおりです。

《議員提出議案》

ユダヤ難民に対する人道的行為を行った小辻節三博士を顕彰する決議について

先の大戦において、杉原千畝氏が発給した「命のビザ」を持ち日本に滞在していたユダヤ難民たちの生活を守り、ビザの有効期限を延長して希望の地へと命をつなぐことに奔走した小辻節三博士に対し、全国に先駆けて「平和都市宣言」をした鎌倉市として、平和都市にふさわしい人道的行為を心の文化遺産として顕彰するとともに、鎌倉市民のみならず、多くの人々の心の文化遺産として語り継ぐことについて、決議するものです。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

核兵器禁止条約に日本政府が積極的な役割を果たすことを求める意見書の提出について

政府は核兵器のない世界を目指して、核兵器を持つ国々と持たない国々の橋渡し役を務めると明言しており、条約加盟国を広げて核兵器の禁止を全地球的規模で確立するには、市民社会が連帯して声を上げる必要があることから、全国に先駆けて平和都市宣言をした自治体の一員として、唯一の戦争被爆国であること

を踏まえ核兵器禁止条約に積極的な役割を果たすことを国に求めるものです。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

北朝鮮の6度目の核実験とたび重なるミサイル発射に対して強く抗議するとともに、北朝鮮に対する断固たる対応の早急な実施を求める意見書の提出について

わが国独自の措置および関係国連安保理決議に基づく措置を引き続き着実に実施するとともに、国連安保理理事国として、米国、韓国、中国およびロシアをはじめとする関係各国や国際社会との協力・連携をさらに強化し、国連安保理におけるさらなる対応を含めた北朝鮮への断固たる対応の速やかな実施により、国民が冷静に、安心して平常どおりの生活が送れるよう国に強く求めるものです。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

《市長提出議案》

条例関係議案

私たちのまち鎌倉のことに関心をもち、自分たちでより良くしていこうという思いを共有して行動するための条例の制定について

魅力と活力にあふれる地域社会の実現に寄与することを目的として、市民等、その他鎌倉のまちに関わる人々および本市が協力し合い、多様化する地域課題を解決し、鎌倉のまちをさらに輝くまちなしめていくため、基本理念等必要な事項を定めようとするもので、公布の日から施行しようとするものです。

議会では、少数の賛成により、原案を否決しました。

鎌倉市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

利用者の防火安全に対する意識の向上による火災被害の

補正予算

一般会計補正予算(第3号、第4号)および国民健康保険事業特別会計補正予算は、それぞれ議員の賛成で原案を可決しました。

一般会計補正予算(第3号)

子どもの貧困対策に関する実態調査に係る経費、鎌倉生涯学習センターホール音響設備修繕に係る経費を追加しようとするもので、歳入歳出とも154万9千円を増額し、補正後の総額は599億4343万6千円となります。

一般会計補正予算(第4号)

衆議院議員選挙および国民審査費の職員手当、委託料等諸経費の追加をしようとするもので、歳入歳出ともに68万5千円を増額し、補正後の総額は600億1200万1千円となります。

国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出ともに658万5千円を増額し、補正後の総額は216億5295万1千円となります。

可決した意見書・決議

9月定例会では、次の意見書提出および決議に係る議会議案を可決しました。なお、可決した意見書は、地方自治法第99条の規定に基づき、関係機関に送付しました。

核兵器禁止条約に日本政府が積極的な役割を果たすことを求める意見書

平成29年7月7日の国連会議において、核兵器の使用だけでなく、持つことも、配備することも禁止した核兵器禁止条約が、国連加盟国の6割を超える122カ国の賛成で採択された。長年、被爆者やNGOが連帯して積み重ねてきた努力が形になったものであり、核兵器の非人道性を中軸に据えるという被爆者の思いを基本精神に刻んだ条約の採択に、広島市長、長崎市長も歓迎の声を上げた。

今も世界には、1万5000発近くの核兵器がある。核兵器をめぐる国際情勢は緊張感を増しており、遠くない未来に核兵器が使われるのではないかと強い不安が広がっている。核兵器を持つ国々は現状、核兵器禁止条約に反対しており、核兵器のない世界にたどり着く道筋はまだ見えていないが、この条約をいかに生かし、歩みを進めることができるかが、核兵器のない世界に向け、各国に問われている。

核兵器禁止条約は、第1条で核兵器の「開発、生産、製造、取得、貯蔵、移転、受領、使用、核爆発実験」などを禁止し、核兵器を違法化するとともに、第4条で「自国の核兵器を廃棄した国のための措置」を明記し、核保有国に参加の道を開いている。核兵器を法的に禁止するとともに、核兵器全面廃絶につながる大きな意義を持つ内容となっている。

政府は、核兵器のない世界を目指してリーダーシップをとり、核兵器を持つ国々と持たない国々の橋渡し役を務めると明言している。条約加盟国を広げて核兵器の禁止を全地球的規模で確立するには、市民社会が連帯して声を上げる必要があることから、鎌倉市議会は全国に先駆けて平和都市宣言をした自治体の一員として、日本政府に対し、唯一の戦争被爆国であることを踏まえ核兵器禁止条約に積極的な役割を果たすことを求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年9月29日

鎌倉市議会

このほか、

- ユダヤ難民に対する人道的行為を行った小辻節三博士を顕彰する決議
- 北朝鮮の6度目の核実験とたび重なるミサイル発射に対して強く抗議するとともに、北朝鮮に対する断固たる対応の早急な実施を求める意見書の提出について

を可決しました。

(可決した意見書・決議の全文は、市議会ホームページをご覧ください)

編集後記

この原稿を書いているのは衆院選真っただ中です。お読みになっている市民の皆様は、衆院選も市長選も終わりに近づいているのではないのでしょうか。地方議会は、ご存じのとおり、国会とは違います。執行機関と議決機関という二元代表制です。9月定例会では、各会派、議決に至る過程でかなり議論を深めました。これは、議決機関としての役割を果たす上で重要ですが、後にも、各会派議論を深め、議決機関としての役割を果たすために、市民の皆様にご理解をいただければ幸いです。

(志田 一宏)

議会広報委員会

- 委員長 河村 琢磨
- 委員長 日向 慎吾
- 委員 志田 一宏
- 委員 武野 裕子
- 委員 西岡 幸子
- 委員 池田 実
- 委員 保坂 令子